

売上高・営業益 上方修正

トラスコ中山
12月期見直し 冷房機器など好調

トラスコ中山は20・2%増)、営業利益は同3億円増の136億円(同4・7%減)を上方修正した。売上高は2月の期初公表値から30億円増の2130億円(前期比9

と大型物流拠点の整備をはじめとした設備投資が先行することで前期比で減少する。人員配置や外部委託などの物流コストの適正化を進め、7-12月期以降に利益貢献させる。

18年1-6月期は工場向けとインターネット通販向け、量販店向けの主要3部門が増収だった。冷暖房機器など季節商品の卸売りが想定を上回った。

米中貿易摩擦で電機や機械大手が先行きを慎重にみるが、「(貿易摩擦の)影響が表面化するレベルではない」(藪野忠久常務)との認識を示した。

売上高	1,048	(9.4)
営業利益	2,130	(9.2)
経常利益	69	(▼4.6)
当期利益	136	(▼4.7)
配当	70	(▼4.5)
	138	(▼5.0)
	47	(▼5.6)
	93	(▼8.6)
	18.5円	(19.5円)
	35.5円	

トラスコ中山
(1-6月期)